

令和4年度

第3回 宮崎市総合計画審議会議事録

令和4年度 第3回 宮崎市総合計画審議会議事録

- 1 日時 令和4年12月26日(月) 14時13分～15時10分
場所 宮崎市教育情報研修センター3階 大研修室

2 出席委員

- 第1号委員 淡野 公一、勢一 智子
第2号委員 田中 大介
第3号委員 樋口 由香、渡邊 俊隆、厚地 安、中川 育江、
米良 充典

3 議案の内容

- (1) 第五次宮崎市総合計画基本計画の改訂(案)について
(2) 答申(案)について

4 審議の経過及び結果

経過 : 別紙 議事録のとおり

結果 : 議案の内容について、「原案」のとおりとする。

議事録署名人

樋口 由香

中川 育江

【小野参事（宮崎市）】

皆さんお疲れ様でございます。

時間には若干早いのではございますが、皆様お揃いでございますので、ただいまから、令和4年度第3回宮崎市総合計画審議会を開催させていただきます。

本日、会議にご出席いただきました委員の皆様は8名でございます。

宮崎市総合計画審議会条例第5条第3項の規定によりまして、本会議が成立していることをご報告いたします。

本日ご出席いただいております委員の皆様のご紹介につきましては、お手元の座席表にて代えさせていただきます。

それでははじめに、清山宮崎市長がご挨拶申し上げます。

【清山市長（宮崎市）】

皆様、お疲れ様です。市長の清山です。

委員の皆様には年末の大変ご多用のところ、足をお運びいただき、お時間賜り感謝を申し上げます。ありがとうございます。

今年も残りわずか、5日間程度となってまいりましたが、この第五次宮崎市総合計画の審議会につきましても、今年の4月をキックオフに、基本計画の改訂について8月よりご審議いただいているところでございます。

今般、基本計画の改訂について、計画期間の変更に伴う所要の修正であったり、目標値の設定など、軽微な変更にとどまるものでございますけれども、今後、今まで設定しておりました戦略プロジェクトというものを、「力強い経済への挑戦」、「誰一人取り残さない社会づくり」、そして「未来への投資」という3つの大きな柱を新たに設定し、メリハリのついた予算編成にすべく、令和5年度の当初予算編成について内部で取りかかっているところでございます。

昨日まで県知事選挙戦が17日間行われ、非常に選挙も盛り上がる中で、県民の皆様から様々なご意見が紹介されておりましたけれども、やはり一人ひとりの生活は大変厳しいものがあると実感をしております。

市政を担う立場としても市民の皆様一人ひとりが、市の政策で暮らしがよくなったと幸せを実感していただけるよう、政策の推進にまい進していきたいと改めて思いを強くしたところでございますし、この基本計画もそうした実態に沿ったものになりますよう、皆様方からご審議賜りまして、計画の策定に向けて取り組んでまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

本日は誠にありがとうございます。

【小野参事（宮崎市）】

ありがとうございました。

部屋が若干暗くなっておりますけれども、ブラインドを閉めております。ブラインドを開けますと日が入り、眩しくなるためでございます、この点はご了承ください。よろしくお願ひいたします。

それでは資料の確認をさせていただきます。

本日の総合計画審議会の会次第、資料3というA3の資料でございます。

それ以外に、総合計画審議会の委員の名簿並びに席次表、総合計画審議会の条例等を机上配付させていただいております。

本日の会議につきましては、事前のご案内のとおり、タブレットを用いて、ご審議いただくこととしております。前のモニターにも同じものを表示いたします。

なお、資料の展開につきましては、事務局が操作いたしますので、お手元のタブレットの方をご覧いただきたいと思っております。

本日の資料は画面上に映し出されておりますけれども、報告事項として資料1、資料2、協議事項といたしまして資料3、資料4、資料5を用いまして説明させていただきます。

タブレットが正常に動かない委員の方はいらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは規定によりまして会長が議長となって進めることになっておりますので、ここからの進行を淡野会長にお願いしたいと思っております。

淡野会長、お願いいたします。

【淡野会長（宮崎大学）】

それでは、規定に従いまして、私の方で議長を務めさせていただきます。本日はどうぞご協力のほどよろしくお願いいたします。

まず議事に入ります前に、本日の会議録署名委員2名を指名させていただきますと思います。

本日ご出席いただいております樋口委員と中川委員にお願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

樋口委員、中川委員よろしく申し上げます。

それでは早速ですけれども、議事の方に入らせていただきます。

本日、報告事項が2件、協議事項が3件となっております。

それでは、報告事項の方から入らせていただきたいと思えます。

まずは報告事項の（1）第五次宮崎市総合計画基本計画の改訂に関するこれまでの経緯等について、①の第五次宮崎市総合計画基本計画の改訂に関するこれまでの経緯、②の第五次宮崎市総合計画基本計画の改訂に関する宮崎市総合計画策定・推進会議専門部会における協議事項の概要についての2点、事務局からまとめて説明をお願いいたします。

【小野参事（宮崎市）】

それでは、3報告事項（1）第五次宮崎市総合計画基本計画の改訂に関するこれまでの経緯等について資料1並びに資料2を用いまして、説明させていただきます。

まずは資料1をご覧ください。基本計画改訂に関するこれまでの経緯でございます。

（1）計画期間の変更についてでございますが、白丸で記載のとおり、1点目といたしまして、新型コロナウイルス感染症の影響等によりまして、「評価できない」重点項目が確認されたこと、2点目といたしまして、新型コロナウイルス感染症が地域経済に大きな影響を及ぼすとともに、

市民の意識や行動に大きな変化をもたらしたことから、3点目といたしまして、内容等が重複する総合計画と総合戦略の計画期間に2年のズレがあり、市民にとって分かりづらいものでありますとともに、両計画の取扱いや事務が煩雑でありましたことから、中央の表にありますとおり、総合計画の計画期間を10年から7年に変更し、令和7年度を始期といたします「第六次宮崎市総合計画」を前倒しで策定することとしております。

計画期間を変更した後の基本計画につきましては、(2)に記載のとおり、8月5日に開催いたしました本審議会におきまして、基本計画を構成する5つの章ごとの見直しの考え方について了承いただき、これまで庁内外で協議・検討を行ってきたところでございます。

次のページをご覧ください。改訂する基本計画は2年間延伸するものでございまして、延伸する令和5年度及び令和6年度の延伸分K P I等に関する考え方でございます。

①に記載のとおり、改訂前のK P I等を踏襲しまして、目標値を設定することを原則とし、②総合戦略と重複いたします80項目のK P I等につきましては、総合戦略が令和6年度までを計画期間としておりますことから、当該目標値を踏襲することといたしたところでございます。

一方で、③に記載のとおり、新型コロナウイルスの影響を大きく受けた指標につきましては、目標値の設定に留まらず、K P I等を削除することを含め検討したところでございます。

次のページをご覧ください。

本審議会では承いただきました基本的考え方をもとに、庁内での調整を踏まえ、部局長等で構成いたします宮崎市総合計画策定・推進会議及び審議会の実務者レベルで構成いたします宮崎市総合計画策定・推進会議専門部会におきまして、(4)に記載の5つの見直し区分のもと、協議・検討をこれまで行ってきたところでございます。

続きまして、資料2をご覧ください。

専門部会における協議事項の概要でございます。

(1)に専門部会を踏まえ見直し区分別内訳を記載しております。円グラフでございますけれども、目標値新設が67項目、目標値修正が40項目、目標値踏襲が34項目、K P I新設(変更)が4項目、K P I

廃止（削除）が46項目となっております。

なお、K P I 廃止（削除）の46項目につきましては、既に個別の計画で重複して管理しているもの等が中心になっておりますけれども、それらにつきましては、個別の計画でより具体的な施策等と見合わせながら、実績を確認した方がよいという判断の上で削除したものでございます。

続きまして、その下の（2）の表に記載しますとおり、K P I 等の全体といたしましては、改訂前に191ございましたものが、見直し後は145のK P I 等になったところでございます。

次のページをご覧ください。

（3）専門部会でいただきました延伸分K P I 等に関するご意見でございます。

こちらには主なものを3つ掲載しております。

一つ目といたしまして、設定するK P I 等につきまして、本質的な指標を設定するなどより中身を精査し、他市の状況を踏まえ、指標の総数は二桁にするなど、もっと大胆に減らしていくべきとのご意見でございます。

なお、他市の状況でございますが、これは九州内の県庁所在地、指定都市、中核市では概ね100前後のK P I 等を設定していることを受けてのものでございます。

二つ目といたしまして、そもそもコロナの影響で増減する指標ではなく、コロナの影響に関係なく、市の施策によって増減する指標の設定が必要ではないかというものでございます。

三つ目といたしまして、減少に歯止めの効かない指標、例えば「自治会加入率」でございますが、これまでの取組の延長、継続だけではなく、政策的なアプローチを見直す必要があるのではないかとご意見をいただいたところでございます。

また、（4）その他のご意見といたしまして、宮崎市のありたい姿・あるべき姿がイメージでき、その実現に向け具体的なK P I 及びその目標値設定をするとよいという意見をいただいたところでございます。

なお、（3）、（4）のご意見につきましては、来年度から取り組む予定としております第六次宮崎市総合計画策定の中で協議・検討することで、

専門部会からご了承いただいたところでございます。

報告事項は以上でございます。

【淡野会長（宮崎大学）】

ありがとうございました。

ただ今、①、②まとめて説明いただいたところでございます。

委員の皆様方から、意見、コメント等ございましたらいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

【勢一委員（西南学院大学）】

ご説明ありがとうございました。

ご説明いただきました内容等に異論等ある訳ではないのですが、せっかくの機会ですので、少しコメントさせていただけたらと思います。

総合計画と地方創生総合戦略の一体化を目指してということについては重要なことであると思っておりますので、その様な判断をしていただきましたことについてはありがたいと思っております。国の方でも行政計画のあり方をしっかり見直す必要があるということで、地方分権から始まっておりますけれども、全国知事会を含めて、行政計画を作ることが重荷になって、施策ができないのは駄目だということになっておりますので、やはり複数の計画の重複を解消するであるとか、一体的に策定した方がよいものについては積極的にその様な方法をとるというのは、これからの人口減少社会においては必要なことだろうと思っております。

併せて、K P Iについても重複しているものとか、数が多すぎるということであれば、そういう姿勢も重要であると思っております、その点も評価をさせていただきたいと思っております。

その点で若干のコメントですけれども、先ほどの資料2の2ページ、専門部会からの意見のご紹介いただいて、それぞれなるほどという重要な指摘ですが、一番最初他市の状況を踏まえるということで、説明では九州内の自治体での比較でお話だったんですが、一つ九州内が基準

かもしれませんが、中核市という業務の規模でみていただくことが重要かなと思っておりますので、そのあたりを今後のご検討の際に、少しお考えいただけるとありがたいと思います。

業務の内容が違いますと、指標の数も違ってくるかと思っておりますので、よろしく願いいたします。

もう一つ、3つ目のところのK P Iが機能していないというご意見でございますが、この指摘も非常に重要で、K P Iを見直すのではなく、政策的なアプローチを見直すというご指摘かと思ひまして、大きな宿題かと思ひますけれども、是非次のステップで活かしていただくとありがたいと思ひます、以上です。

【淡野会長（宮崎大学）】

ありがとうございました。事務局から何かございますか。

【小野参事（宮崎市）】

貴重なご意見ありがとうございました。

確かにK P I等の数につきましては、近隣の九州内の都市等を中心に考えておりますけれども、次期総合計画を策定する中で、全国62の中核市がございまして、そういったところの状況もつかみまして、委員の皆様にご提示しながら、議論を深めてまいりたいと思ひます。ありがとうございました。

【淡野会長（宮崎大学）】

ありがとうございました。特に、次の第六次策定の際はしっかりと捉え、考えていかなければならないことですので、ありがとうございました。

ほかにご意見、コメント等ございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

続きまして、協議事項になります。

まずは第五次宮崎市総合計画基本計画の改訂（案）についてということで、こちらの方を事務局から説明をお願いしたいと思います。

【小野参事（宮崎市）】

協議事項（１）第五次宮崎市総合計画基本計画の改訂（案）につきまして、説明させていただきます。

今回の説明につきましては、お手元にA3の資料3を配付しております。こちらとタブレットの画面を見ていただきながら、説明させていただけたらと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。

まず初めにお手元に配付しております資料3をご覧いただきたいと思ひます。

タブレットの画面でも同様に映しておりますが、まずこちらにつきましては、「1 第五次宮崎市総合計画改訂の主旨」及び「2 第五次宮崎市総合計画改訂のポイント」のうち（1）第五次宮崎市総合計画の構成並びに（2）基本構想における改訂内容につきましては、既にこれまでも説明しております内容でございますので本日の説明は割愛させていただきますと思ひます。

2の（3）基本計画各章における主な改訂内容につきまして、各章ごとに説明させていただきますと思ひます。

資料下段の表をご覧ください。こちらに各章ごとの主な改訂内容等、それと現行の総合計画のページ番号を載せております。

まず、第1章基本計画の構成と推進体制につきましては、計画期間、基本計画の名称、会議体名称の見直しなど、所要の見直しを行ったところでございます。

続きまして、第2章財政の見通しと行政経営のあり方につきましては、タブレットの資料3-1をご覧いただきたいと思ひます。

この表でございますけれども、左側が改訂案、右側が現行の記載となっております。

また、左側の改定案の朱書き箇所が今回改訂を行う部分となっております。

この第2章につきましては、章の名称を第五次宮崎市総合計画改訂の経緯と今後の財政の見通しに変更しております。

その下に、「1 第五次宮崎市総合計画改訂の経緯」を付記しております。

付記します内容といたしましては、一段落目に計画期間変更の経緯について、二段落目に社会情勢の変化により柔軟に対応するため、「都市経営の基本方針」を廃止することを記載しております。

また、三段落目に令和5年度及び令和6年度の2年間におきましては「力強い経済への挑戦」、「誰一人取り残さない社会づくり」、「未来への投資」といった新たな市政運営の方針のもと、時代の潮流などを踏まえて「戦略プロジェクト」を再構築し、各種施策を推進する、以上の3点を付記したところでございます。

続きまして、タブレットの2ページをご覧ください。

こちら、中期財政計画の令和4年度見直しを踏まえ、「普通会計収支見通し」、3ページの「財政調整基金残高」及び「市債残高及び市債発行額」のグラフにつきまして、平成30年度から令和3年度までは実績額を、令和4年度から令和6年度までは見込額を記載しているところでございます。

続きまして、4ページをご覧ください。

右側の現行における都市経営の基本方針でございますが、先ほどご説明しましたとおり、社会情勢の変化により柔軟に対応するため、当該内容につきましては廃止するものでございます。

続きまして、恐縮でございますが、お手元の資料3にお戻りいただきまして、第3章戦略プロジェクトをご覧くださいと思います。

戦略プロジェクトにつきましては、本市の現況、社会情勢の変化を踏まえ、これまでの5つのプロジェクトを廃止し、3つのプロジェクトと、それらに連なる10の重要施策で構成される戦略プロジェクトを再構築するものでございます。

詳細につきましては、タブレットの資料3-2を用いまして説明させていただきます。

こちら先ほどと同様、改訂案と現行の対比表でございますけれども、左側の改訂案におきまして白丸が3つございます。

戦略プロジェクトについての説明を記載しておりまして、一つ目が令和5年度から6年度で優先的かつ重点的に取り組む施策であること、二つ目が戦略プロジェクトの展開にあたりましては、人口減少への対応策として取り組むこと、三つ目といたしまして、公民連携やDXの手法の活用で生産性向上を図ることを明記しているところでございます。

続きまして、戦略プロジェクトを構成します3つのプロジェクトの概要について説明いたします。

2ページをご覧ください。

まずはプロジェクト1「力強い経済への挑戦」でございます。

本市といたしましては、地域経済は、市民の生活を支え都市の成長・発展を促す基盤であり、地域の活力をさらに高めていくためには、企業活動や労働で生み出された付加価値を停滞させることなく、分配・消費につなげる循環を目指しまして、経済を成長させていくことが重要であると捉えております。

このようなことから、本市では、付加価値の創出や経済活動に必要な人材の確保、都市基盤の整備を推進してまいります。

また、外貨を稼ぐ視点から、観光・スポーツ振興を図り、更なる本市の経済成長を促進するという旨を記載しております。

なお、プロジェクト1につきましては、1-1から1-4までの4つの重要施策を設けることとしております。

続きまして、3ページでございます。

プロジェクト2「誰一人取り残さない社会づくり」でございます。

SDGsの誰一人取り残さないという基本理念のもと、持続可能で多様性と包摂性のある社会づくりに取り組むことが重要であると考えているところでございます。

このようなことから、全ての市民の健康増進・福祉の充実に図るほか、女性はその個性と能力を十分に発揮し活躍できる社会づくり、多様な市民がその置かれた環境にかかわらず活躍できる社会づくりを推進する旨を記載しております。

プロジェクト2につきましては、2-1から2-3までの3つの重要施策を設けることとしております。

続きまして、4 ページをご覧ください。

プロジェクト3「未来への投資」でございます。

少子高齢化が急速に進行する中、生産年齢人口も急速に減少していくことから、今後その対策が重要であると捉えております。

その様なことから、本市では、将来世代への投資という観点から、少子化対策・子育て支援を強化してまいります。

また、質の高い学校教育の推進を図りますほか、ゼロカーボンシティの実現を目指すこととしております。

プロジェクト3につきましては、3-1 から 3-3 の3つの重要施策を設けることとしております。

最後に、繰り返しになりますが、3つのプロジェクトからなる戦略プロジェクトでございますが、すべてに共通いたしまして、本市の喫緊の課題であります人口減少へ立ち向かうため、自然増及び社会増の視点から、各種施策に取り組むことといたしております。

さらに、自然増及び社会増を後押しする生産性向上の視点を取り入れることとしており、あらゆる分野において、公民連携及びDXの手法を積極的に活用することとしているところでございます。

恐れ入ります。お手元の資料3にお戻りいただきまして、第4章「健全な行財政運営の確保に向けた取組」、第5章「まちづくりの基本目標を達成するための具体的な取組」についてでございます。

先ほど、資料1及び資料2でご報告いたしましたとおり、KPI等の令和5年度及び令和6年度目標値設定、KPI等の新設または廃止を行っております。

このほか、現況に合わせまして、KPI等の所管課、各主要施策に関連する個別計画等の名称変更、社会情勢の変化による不適切な表現等の修正について、庁内外で協議・検討してまいりました。

その協議・検討結果につきましては、資料4の冊子の方で、詳細を明記しておりますけれども、ボリュームが膨大でございまして、本日は時間も限られておりますことから、重点目標の中から主なものについてご説明させていただきたいと思っております。

それではタブレットの資料3-3をご覧ください。

まず、基本目標1「良好な生活機能が確保されている都市（まち）」の重点項目1-2「医療・福祉のまち充実」に設定する重点目標「医療サービスに満足している人の割合」でございます。

こちらにつきましては、新型コロナのマイナス影響を受けているものの、総合戦略の目標値を踏襲し、令和6年度に61.0%を目指すものでございます。

次期総合計画の策定にあたりましては指標の検討を行いたいと考えているところでございます。

2ページでございます。基本目標2「良好な地域社会が形成されている都市（まち）」の重点項目2-1「みやぎっ子の育成」に設定する重点目標「将来の夢や目標をもっている児童生徒の割合」でございます。

こちらにつきましては、新型コロナのマイナス影響を受けているものの、将来を担う児童生徒の育成は重要でありますことから、2022年度の目標値であります小学生94.0%、中学生82.0%という目標を引き続き目指していくとしたところでございます。

続きまして3ページ、基本目標3「良好な就業環境が確保されている都市（まち）」の重点項目3-1「人財の育成」に設定する重点目標「県内新規学卒者の就職内定者のうち県内就職内定率」でございます。

こちらにつきましては、2020年度の前年差が高校で約3ポイント、大学等で約4ポイント向上するなど、新型コロナのプラス影響を受けているものでございますが、今後もこのような県内志向が定着するのか状況を注視したいと考えておりますことから、目標値については、総合戦略の目標値を踏襲することとしたところでございます。

続きまして4ページ、基本目標4「魅力ある価値が創出されている都市（まち）」の重点項目4-1「ブランド力の向上」に設定する重点目標「宿泊者数」でございます。

こちらにつきましては、2023年度以降、1,680千人を維持することで目標値の修正を行ったところでございます。

最後に5ページ、基本目標5「地域特性に合った社会基盤が確保されている都市（まち）」の重点項目5-1「都市機能の充実」に設定する重点目標「公共交通の利便性が確保されている」と思う人の割合」ござ

います。

こちらにつきましては2020年度及び2021年度のコロナ禍において、利便性向上に資するバスロケーションシステムの導入やバス停環境整備、佐土原駅のバリアフリー化やM a a Sアプリの実証実験等に取り組みましたが、外出自粛や移動手段が変化していること等により実績値の増には至らなかったと推察しているものでございます。

本市といたしましては、引き続き、持続可能な交通ネットワークの構築に向けまして、国や県、関係自治体、運行事業者と連携して取り組んでまいります。総合戦略で設定する2024年度の目標値30.0%を達成することは困難として設定したものでございます。

いずれの重点目標につきましても、本年度再構築いたします「戦略プロジェクト」のもとにおきまして、新たな事業を構築していくことは当然でございますが、既存事業も含めましてゼロベースでこれまでの事業をしっかりと見直し、各種課題に対しまして、意識をもって取り組んでまいりたいと考えております。

なお、資料3-3の6ページ、7ページには先ほど申しました削除したK P I等につきまして、内容を記載しておりますので参考にさせていただきたいと思っております。

説明は以上でございます。

【淡野会長（宮崎大学）】

ありがとうございました。

ただ今、第五次宮崎市総合計画基本計画の改訂（案）について説明をいただきました。

この計画の改訂は、計画期間の変更に伴う所要の修正が主なものとなっておりますが、社会情勢等の変化を踏まえ、戦略プロジェクトを3つ挙げられて、再構築したという形になっているかと思っております。

委員の皆様から、ご意見、コメント等賜ればと思っております。どうぞよろしく申し上げます。

【勢一委員（西南学院大学）】

ご説明ありがとうございます。

私は外の人間でありますので、外から見たというのが若干ありますけれども、少しだけコメントさせていただけたらと思います。

次期計画を見据えてのタイミングになろうかと思えます。これまでの取組を継続しながらという形なので、簡単ではないと思っただけですが、やはり総合計画の役割としましては、市の将来像を示し、そこに市民や市内の事業者が一丸となり、それを実現していくというところにあるかと思えます。

そういう意味では、宮崎市のありたい姿であるとか、あるべき姿のイメージを共有するという点では、この総合計画を用いてうまくメッセージを発信していただくことが大事だと思って拝見をしております。

今回、3つの戦略プロジェクト、大きな柱を示していただき、どれも重要で、喫緊の課題だと思っております。

これを市民の皆さんと共有しながら推進していくという点でいきますと、例えばプロジェクト1の力強い経済への挑戦、まさにコロナで経済が痛んだ今、どの様に地域経済を立て直していくのか、非常に重要な柱になる部分だと思えます。

ここに掲げてある重要施策はどれも、もっともな施策なんですけれども、この施策だけを見た、この段階では宮崎市の経済が成長した後に、どの様なまちの姿になっているのかが、少し見えてきていないという印象です。

私が外の人間ですので、その様に見えるのかもかもしれませんが、今後具体的な個別施策を、この下に連ねて推進していくことになろうとは思いますが、その時に市民の皆様へ、こういったメッセージを出していただくか、メッセージを出して共有していただくことで、事業者の方々が賛同して一緒にやっていただけるし、予算等を審議する議会もその様な声を聴きとって議論し、必要などころに予算をつけてくれるという作業になるのかと思っております。その様なメッセージ性が重要かと考えておりました。

もう一つ申し上げますと、どれも重要ではあるのですが、逆に一般的に重要すぎて、宮崎市の個性がこの段階では見えてこないという印象です。

これもこの後の様々な取組を示していただくことで見えてくるのだろうとは思いますが、宮崎市総合計画の名称を隠しても、これは宮崎のことなんだと分かる様な、その様な魅力がでてくると、市民へのメッセージとしては強いものになると感じたところです。

次期の計画に向けてというところも踏まえて、少しリクエストさせていただきました。

もう1点、指標に関してですけれども、いくつか改訂をしながら数値を変えてというところでした。

指標の設定、K P Iは難しいのですけれども、今後検討をお願いしたいのは、意識調査で見る内容をどの程度うまく確認することができるのかというところは研究いただきたいと思います。

主観やその人の置かれた状況によって判断が随分異なってきますので、行政の施策が成果として見える様な形で、進捗を見るという意味では大事だと思いますので、こういったところも指標の研究として次期総合計画に向けて、これまでの取組と今後の取組を含めて検討いただけるとありがたいなと考えております。

【淡野会長（宮崎大学）】

ありがとうございます。事務局からいかがでしょうか。

【清山市長（宮崎市）】

ありがとうございます。

まずK P Iからお答えいたしますけれども、私はこのK P Iの設定に満足していなくて、今回は軽微な修正に留めておりますので、次期総合計画の設定に関してはかなり全面的に考え方を変えていかなければならないと思っております。

今回、全面的に変えるには基本計画の改訂や五次総合計画の延長でございますので、そこに至っていないところではありますが、もう少し絞り込んで、本当に見るべきアウトカムはないのかと考えてまいります。

それからまちづくりに関してでございますが、資料3-1の4ページ、今表示されているところでございますが、今までの現行が「未来を創造する太陽都市『みやざき』」という方向性がある、はたしてこれが市民の皆様に浸透し、共有されて宮崎市のまちづくりといえ、「未来を創造する太陽都市」だよねと思っただけなのか、私は少し疑問です。

この様なふわっとした理念を書くこともできるのですが、そもそもこの総合計画というものに自治体独自のオリジナリティーがあらわれるまちづくりの方向性を書くべきか否かについて、少し悩んでいます。

今後、基本構想や第六次総合計画の策定が控えておりますけれども、宮崎市ならではの独自性のまちづくりをここに記載していくという勢一委員が仰った考えもあるでしょうし、一方で、今回戦略プロジェクトを設定した中の大きな思想としては、まちとして持続可能性が危ぶまれていると考えており、経済も横ばいで成長せず、福祉や少子高齢化はかなり厳しい局面を迎えており、かなり思い切った施策が必要じゃないかと考えております。

経済も守るではなく、成長に力点をおいた施策、今までの施策で言いますと保護施策が多かったと思っています。経済政策といってもある分野が厳しいからそこを守っていかなければならないという保護施策から、しっかり成長に力点を置いた施策にしていかなければ厳しいという考え方を入れておりますし、また子ども達のことを考えますと、教育や子育てに対する投資・予算もまだまだ足りていないと考えています。

そのためには無駄な予算を思い切って廃止していきながら、そちらに大胆に振り向けていく、そういう方向性をこの3つの柱を作っただけで示しているところではあるのですが、その根本には将来世代にわたって持続可能なまちづくりをしていきたいという考えがあります。

そうした考え方を前面に出すべきなのか、それとも宮崎らしい、例えば緑と太陽あふれるまちづくりをしますということで行くのか、本当にここは色々な考え方がございますので、多角的に考えていきたいと思っ

ております。私も本当に悩んでいるところですので、ありがとうございます。

【勢一委員（西南学院大学）】

ご説明いただきましてありがとうございます。

市長が仰られたことは私も理解できますし、むしろ共感いたしました。

そのお話を伺いまして、改めて思いましたのは、私が申しました宮崎らしさというのは、古典的な宮崎らしさではなく、ここに暮らす人々が体感できる、地域の魅力や良さというところでございますので、恐らく色々なバリエーションがあるのかなと思います。

その中にご懸念の課題については、その課題を解決しながら持続可能に地域が良くなっていくために、どういうことが必要なのか、今仰った3つのプロジェクトの関係性や好循環をどの様に作っていくのかということはメッセージとしては重要な部分なのかと改めて思いました。

その様なことが市民の皆様と共有できると施策も成果につながるのではと思いました。ありがとうございました。

【小野参事（宮崎市）】

事務局から1点補足させていただきます。今回、第五次総合計画の一部改訂ということでございまして、基本構想は変えず、基本計画のみを一部修正しております。

先ほども申しました、本来は一体的に考えるべき事柄でございますので、次期総合計画の策定に当たりましては、基本構想と基本計画を一体的に検討してまいりますので、その中で十分議論してまいりたいと考えております。ありがとうございました。

【淡野会長（宮崎大学）】

ありがとうございました。他、ご意見、コメント等ございませんでし

ようか。よろしいでしょうか。

ただ今、コメントいただきましたけれども、先ほどご説明ありましたように、基本的には2年の延伸、この部分についてご了承いただきたいと考えております。

今後、第六次の総合計画を議論していく上では、いただきました貴重な意見や市長からのコメントもございましたけれども、総合的に考えていく必要があると考えております。

今回、ご提案させていただいております第五次宮崎市総合計画基本計画の改訂（案）についてでございますけれども、この部分についてはご了承するというところでよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

それでは第五次宮崎市総合計画基本計画の改訂（案）については了承したというようにしたいと思います。

それでは続きまして、協議事項の二つ目、答申（案）についてをご覧ください。

審議会では、本年8月の第2回の会議におきまして、第五次宮崎市総合計画の改訂について、市長から諮問を受けました。

今回の審議をもちまして、審議を終えることとしております。

そこでここにありますように、答申（案）について、これまでの審議の過程でいただいたご意見等を踏まえて、私の方で作成させていただきました。

皆様内容等をご確認いただきまして、委員の皆様からご意見、コメント等を賜ればと思っております。

少し時間をとりますので、ご確認いただけたらと思います。

記のところに1、2ということで、意見を付けさせていただいております。

いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

ありがとうございます。

それでは、この答申（案）をもって、審議会の最終答申とさせていただきます、宮崎市に対して答申するということになります。

最後の確認でございますが、よろしいでしょうか。ありがとうございます。

ます。

最後に、宮崎市に対して答申につきましては、私にご一任いただけますでしょうか。ありがとうございます。

以上で、本日の審議の全てを終了させていただきます。

委員の皆様方のご協力により、答申をまとめることができました。深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

それでは、進行を事務局にお返します。

【小野参事（宮崎市）】

淡野会長、ありがとうございました。

委員の皆様には熱心にご議論いただきまして、ありがとうございます。

それでは以上をもちまして、令和4年度第3回宮崎市総合計画審議会を終了いたします。

どうもお疲れ様でございます。ありがとうございました。